

# 生殖医療技術 中高生に説明

岡山大で体験授業

不妊治療の体外受精など生殖医療を学ぶ中高生を対象とした体験授業が24日、岡山市北区鹿田町の岡山大Jホールで開かれ、県内外の男女約60人が参加した。

岡山大学院保健学研究科の中塚幹也教授が妊娠、出産に関して

顕微鏡で卵子を確認する中高生



講義し、代理出産や提  
供精子・卵子による出  
産を認めよとする法  
テナを張って情報を入

手し、自身のライフ  
ランを考えよう」と呼  
び掛けた。  
参加者は、体外受精  
などを行う胚培養士か  
らアドバイスを受けな  
がら、顕微鏡で動物の  
卵子や精子を観察。将  
来の妊娠、出産に備え  
た卵子の凍結なども体  
験した。倉敷中央高2  
年刈尻恵菜さん(17)  
は「緻密な作業の積み  
重ねが人の誕生に関わ  
っていると感じた。  
胚培養士という職業に  
興味を持った」と話し  
た。

授業はJホール開館  
1周年の記念イベント  
として行われた。

(大橋孝平)